

中小企業動向調査

この調査は富山県内企業409社を対象に実施し、266社より回答があり、その結果をまとめたものである。

企業の調査資料として、平成24年10月～12月の実績、平成25年1月～3月の見込み、平成25年4月～6月の先行き見通しを集約した概要である。なお、季節調整は行っていない。

調査時期：平成24年12月下旬

	調査対象企業数	有効回答企業数	有効回答率
製 造 業	180	118	65.6%
非 製 造 業	228	148	64.9%
計	408	266	65.2%

日銀が2月15日に公表した、北陸の金融経済月報（2013年2月）によると、「北陸の景気は、弱含みとなっている。最終需要をみると、個人消費は弱めの動きとなっている。住宅投資、設備投資は持ち直しているほか、公共投資は増加している。

当地の製造業の生産は、全体として高操業を維持している。

この間、雇用・所得は持ち直しの動きが一服している。

先行きについては、当面横ばい圏内で推移するとみられるが海外経済が減速した状態から脱していくことなどを背景に、穏やかな回復経路に復していくとみられる。

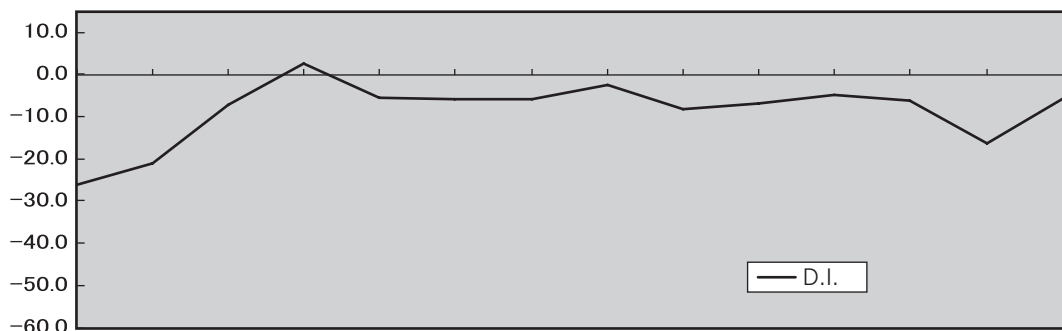
金融面をみると、預金は個人を中心に増加している。貸出は地方公共団体向けを中心に増加している。」としている。

I. 企業概況

企業概況の推移……（全産業）

(%) 見込 予測

期別 種別	22 年				23 年				24 年				25 年	
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
良 い	11.0	11.1	16.2	20.8	17.5	19.4	15.4	17.9	15.1	14.3	14.7	15.7	7.6	10.0
普 通	52.0	56.8	60.5	61.1	59.5	55.4	63.2	61.8	61.6	64.6	65.8	62.5	68.3	74.7
悪 い	37.0	32.1	23.3	18.1	23.0	25.2	21.4	20.3	23.3	21.1	19.5	21.8	24.0	15.3
D . I .	-26.0	-21.0	-7.1	2.7	-5.5	-5.8	-6.0	-2.4	-8.2	-6.8	-4.8	-6.1	-16.4	-5.4

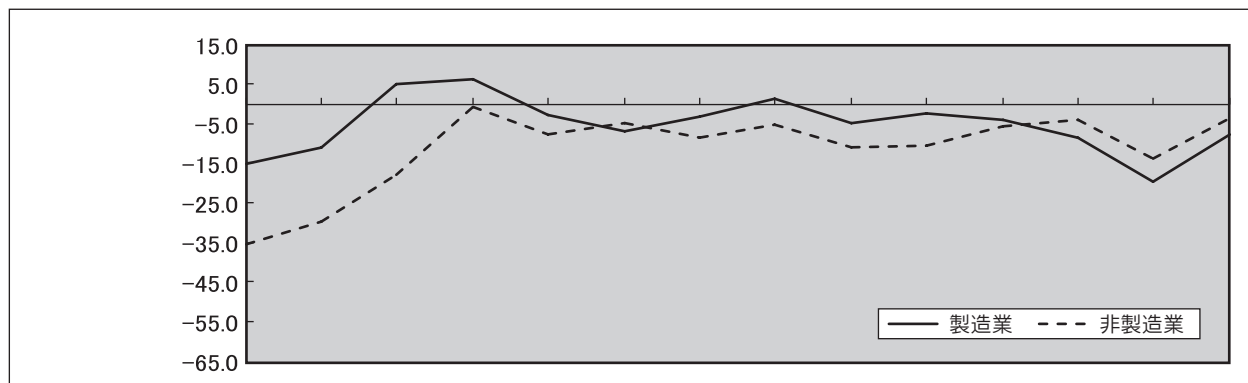


企業概況の推移…… (うち製造業のみ)

		(%)												見込	予測
種別	期別	22 年				23 年				24 年				25 年	
		1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
良	い	20.5	17.7	24.3	27.0	20.3	20.8	17.1	21.6	19.4	16.2	15.3	13.6	4.2	7.7
普	通	43.8	53.7	56.4	52.5	56.5	51.5	62.5	58.2	56.6	65.4	65.6	64.4	72.0	76.9
悪	い	35.6	28.6	19.3	20.6	23.2	27.7	20.4	20.1	24.0	18.5	19.1	22.0	23.7	15.4
D . I .		-15.1	-10.9	5.0	6.4	-2.9	-6.9	-3.3	1.5	-4.7	-2.3	-3.8	-8.5	-19.5	-7.7

企業概況の推移…… (うち非製造業のみ)

		(%)												見込	予測
種別	期別	22 年				23 年				24 年				25 年	
		1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
良	い	2.9	5.4	9.0	15.3	15.0	18.2	13.9	15.0	11.7	12.8	14.3	17.5	10.4	11.8
普	通	59.0	59.5	64.1	68.8	62.1	58.7	63.9	64.7	65.6	64.0	65.8	60.8	65.3	72.9
悪	い	38.2	35.1	26.9	15.9	22.9	23.1	22.3	20.4	22.7	23.2	19.9	21.7	24.3	15.3
D . I .		-35.3	-29.8	-17.9	-0.6	-7.8	-5.0	-8.4	-5.4	-11.0	-10.4	-5.6	-4.2	-13.9	-3.5



(1) こうした北陸の状況の中で富山県内の中小企業の業況を全産業で見ると、業況判断指数D.I.「良い-悪い」の24年10～12月期実績は▲6.1と前期比1.3ポイント悪化した。先行きについて、25年1～3月期のD.I.は▲16.4、25年4～6月期のD.I.は▲5.4と悪化予想となっている。

前回調査時より、1～3月は大幅悪化予想であり、今回も同様となっている。

当行の調査では、業況はまだ悪化傾向とみえる。

(2) 業況判断指数D.I.の24年10～12月期を製造業と非製造業に分けてみると、製造業は前期より4.7ポイント悪化した。非製造業は逆に前期より1.4ポイント改善した。いずれもマイナスのポイントであり、悪いとの回答が高い状態となっている。

先行きについては、製造業、非製造業とも25年1～3月期は悪化予想となっている。

II. 売上高状況

売上高状況

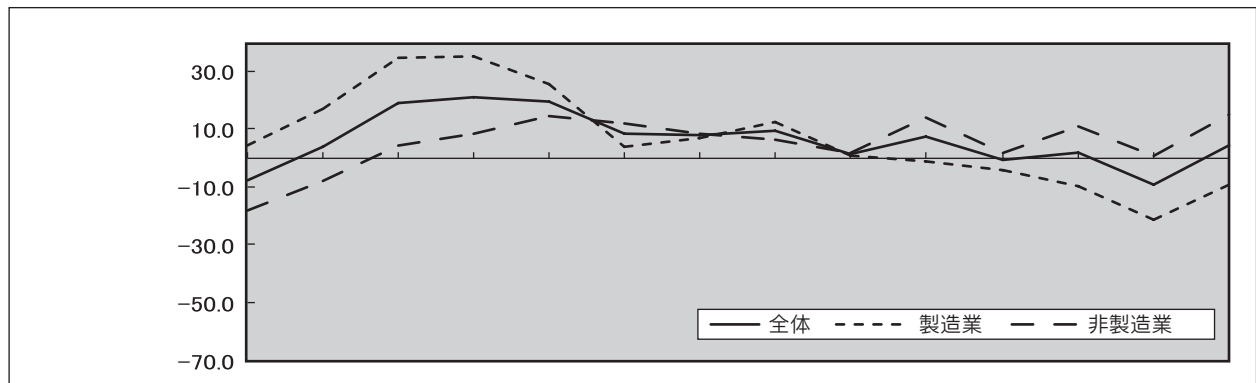
		(%)												見込	予測
種別	期別	22 年				23 年				24 年				25 年	
		1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
増加		28.0	34.5	43.3	32.8	39.4	35.8	33.9	36.5	30.0	33.5	26.3	28.4	16.6	19.3
横ばい		36.2	34.8	30.2	35.5	40.8	36.6	39.8	35.9	41.4	40.3	46.4	44.7	57.7	65.5
減少		35.8	30.7	25.5	21.7	19.9	27.7	26.3	27.5	28.6	26.3	27.3	26.9	25.7	15.2
D. I.		-7.9	3.8	18.8	21.1	19.5	8.0	7.5	9.1	1.3	7.2	-1.0	1.5	-9.1	4.2

売上高状況（うち製造業のみ）

		(%)												見込	予測
種別	期別	22 年				23 年				24 年				25 年	
		1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
増加		35.6	43.9	54.2	54.2	44.6	34.0	33.6	36.2	27.9	28.0	24.4	24.5	10.2	12.7
横ばい		32.9	29.1	26.1	26.8	36.0	35.9	39.5	39.9	45.0	42.6	46.6	40.7	58.5	65.3
減少		31.5	27.0	19.7	19.0	19.4	30.1	27.0	23.9	27.1	29.4	29.0	34.8	31.3	22.0
D. I.		4.1	16.9	34.5	35.2	25.2	3.9	6.6	12.3	0.8	-1.6	-4.6	-10.2	-21.2	-9.3

売上高状況（うち非製造業のみ）

		(%)												見込	予測
種別	期別	22 年				23 年				24 年				25 年	
		1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
増加		21.5	26.2	35.3	32.5	34.6	37.2	34.1	36.8	31.5	37.8	27.8	31.5	21.8	24.7
横ばい		39.0	39.9	34.0	43.3	45.1	37.2	40.1	32.7	38.7	38.4	46.3	47.9	57.1	65.8
減少		39.5	33.9	30.8	24.1	20.3	25.6	25.8	30.4	29.8	23.8	25.9	20.6	21.1	9.5
D. I.		-18.0	-7.7	4.5	8.3	14.4	11.6	8.4	6.4	1.8	14.0	1.9	11.0	0.7	15.1



- (1) 売上高は、前年同期比較での増減について回答を受けている項目である。今回調査では、D.I.は1.5となり、前期より2.5ポイント改善の回答となった。先行きについては、25年1～3月期は今期より大幅悪化の予想となっている。しかし、4～6月期のD.I.は4.2であり、増加を予想している。
- (2) 売上高状況D.I.を製造業と非製造業で分けると、製造業は前期比5.6ポイント悪化、非製造業は9.1ポイント改善となっている。先行きについては、製造業、非製造業とも悪化予想となっている。

Ⅲ. 生産高・稼働率状況

生産高状況（製造業のみ）

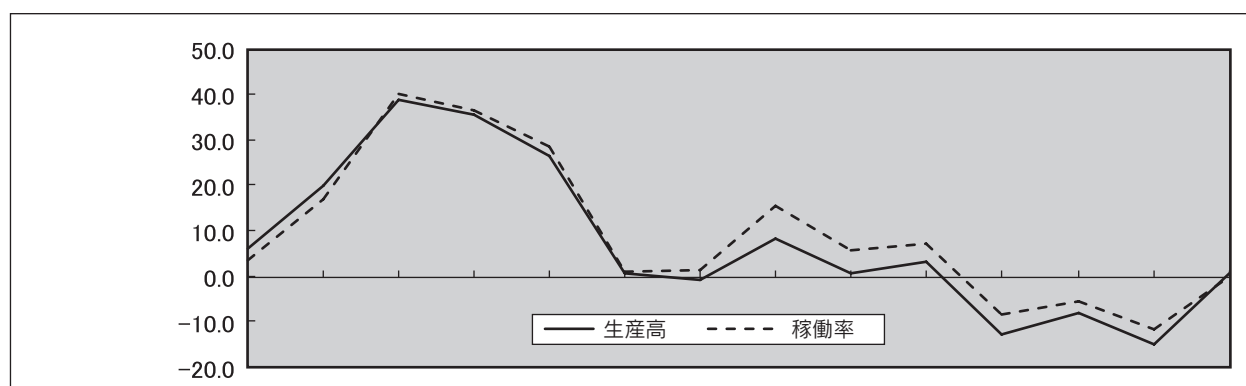
(%) 見込 予測

期別 種別	22 年				23 年				24 年				25 年	
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月
20%以上増加	12.9	19.4	19.9	20.0	16.9	11.9	6.7	6.5	6.1	5.6	4.7	5.1	1.7	2.6
20%未満増加	24.3	26.6	35.5	33.3	28.7	19.8	21.5	28.1	22.1	25.0	17.2	20.5	11.2	13.8
横ばい状況	32.1	28.1	28.4	28.9	35.3	37.6	43.0	39.6	44.3	41.9	43.8	41.0	59.5	68.1
20%未満減少	22.1	18.7	15.6	15.6	14.7	21.8	24.8	22.3	25.2	22.6	28.1	29.1	19.8	10.3
20%以上減少	8.6	7.2	0.7	2.2	4.4	8.9	4.0	3.6	2.3	4.8	6.3	4.3	7.8	5.2
D . I .	6.4	20.1	39.0	35.6	26.5	1.0	-0.7	8.6	0.8	3.2	-12.5	-7.7	-14.7	0.9

稼働率（製造業のみ）

(%) 見込 予測

期別 種別	22 年				23 年				24 年				25 年	
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月
上昇	13.6	21.4	22.3	19.4	19.1	12.1	5.6	7.4	6.4	4.9	5.7	6.1	0.9	1.8
やや上昇	22.9	22.1	31.7	34.3	25.0	19.2	20.1	29.6	21.6	25.2	13.9	10.2	14.9	15.9
横ばい	30.7	30.0	32.4	29.1	40.4	38.4	50.0	41.5	49.6	47.2	52.5	42.1	57.0	64.6
やや下降	22.9	18.6	11.5	15.7	11.8	20.2	19.4	18.5	19.2	19.5	22.1	27.2	19.3	11.5
下降	10.0	7.9	2.2	1.5	3.7	10.1	4.9	3.0	3.2	3.3	5.7	4.4	7.9	6.2
D . I .	3.6	17.1	40.3	36.6	28.7	1.0	1.4	15.6	5.6	7.3	-8.2	-5.3	-11.4	0.0



(1) 生産高・稼働率ともに売上高と同様、前年同期比での増減について回答を受けている項目である。製造業の生産高状況D.I.は▲7.7となり、前期比4.8ポイント改善するが、まだ、マイナスポイントから脱却できない。

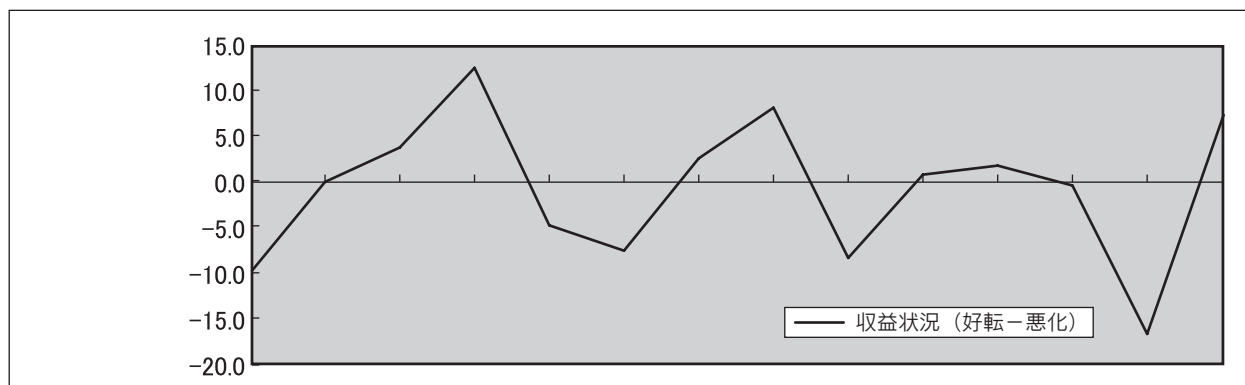
先行きについては、悪化予想となっている。しかし、4～6月期にはプラスポイントとなり、増加予想となっている。

(2) 稼働率についても、売上高、生産高同様に来期は再び悪化予想となっている。4～6月期には、改善予想である。

IV. 収益状況

収益状況（好転－悪化）

期別 種別	22 年				23 年				24 年				25 年	
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月
好 転	19.0	21.1	20.9	27.3	20.2	19.8	24.8	26.4	17.0	19.5	19.7	20.8	7.2	17.0
横 ば い	52.3	57.7	61.8	57.9	54.8	52.7	53.0	55.3	57.7	61.6	62.2	58.1	69.1	73.2
悪 化	28.7	21.1	17.2	14.8	25.0	27.5	22.3	18.3	25.3	18.9	18.0	21.1	23.8	9.8
D . I .	-9.7	0.0	3.7	12.5	-4.8	-7.7	2.5	8.0	-8.3	0.7	1.7	-0.4	-16.6	7.2



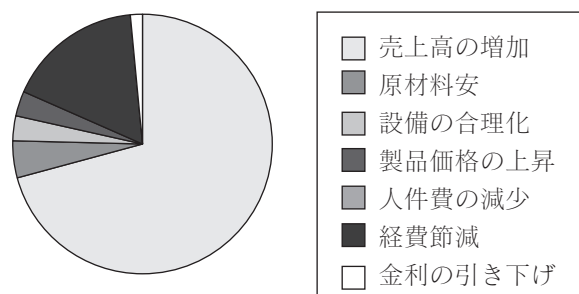
好転理由

期別 種別	22 年				23 年				24 年				25 年	
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月
売上高の増加	63.3	62.5	64.4	73.6	69.2	60.0	76.0	73.5	66.2	67.6	64.4	70.8	51.6	64.3
原材料安	5.1	4.5	1.1	1.8	1.3	5.0	3.0	4.1	1.5	9.9	4.1	4.6	9.7	3.6
設備の合理化	3.8	2.3	5.6	0.9	5.1	6.7	2.0	1.0	0.0	0.0	1.4	3.1	3.2	3.6
製品価格の上昇	2.5	5.7	2.2	3.6	5.1	6.7	2.0	2.0	2.9	2.8	2.7	3.1	6.5	10.7
人件費の減少	10.1	9.1	7.8	4.5	2.6	5.0	3.0	3.1	4.4	2.8	6.8	0.0	6.5	3.6
経費節減	15.2	15.9	17.8	15.5	16.7	16.7	14.0	16.3	22.1	16.9	19.2	16.9	22.6	14.3
金利の引き下げ	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	1.4	1.5	0.0	0.0

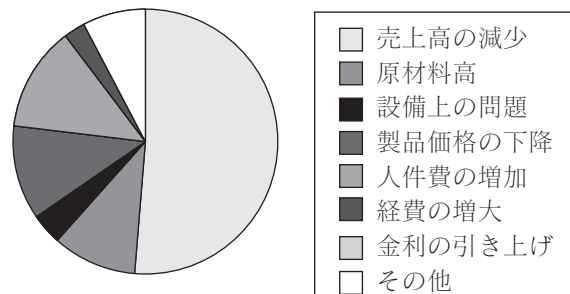
悪化理由

期別 種別	22 年				23 年				24 年				25 年	
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月
売上高の減少	65.2	56.1	56.4	65.7	55.4	53.7	56.1	50.0	55.6	59.2	56.8	51.3	62.5	59.4
原材料高	5.0	13.2	7.7	8.6	13.4	14.7	11.2	18.3	14.8	17.1	13.5	10.3	12.5	15.6
設備上の問題	1.4	0.9	1.3	0.0	3.6	1.1	2.0	1.2	0.9	0.0	1.4	3.8	1.3	3.1
製品価格の下降	13.5	14.9	16.7	14.3	8.0	10.5	9.2	11.0	8.3	6.6	14.9	11.5	7.5	3.1
経費の増大	5.0	5.3	6.4	1.4	7.1	6.3	12.2	8.5	11.1	5.3	9.5	12.8	7.5	12.5
人件費の増加	2.8	7.0	6.4	7.1	4.5	6.3	5.1	4.9	2.8	6.6	2.7	2.6	2.5	0.0
金利の引き上げ	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	1.1	1.0	0.0	0.9	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0
その他	7.1	2.6	5.1	2.9	5.4	6.3	3.1	6.1	5.6	5.3	0.0	7.7	6.3	6.3

好転理由



悪化理由



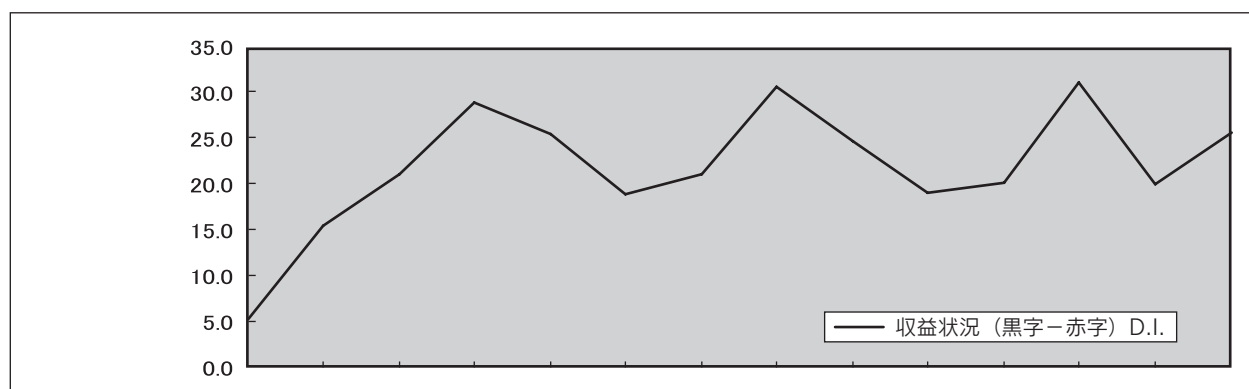
(1) 収益状況「好転－悪化」D.I.は、前期比2.1ポイント悪化し、▲0.4となった。収益は、改善してきていたが、今期はやや悪化、来期は大幅悪化予想となっている。しかし、25年4～6月期には、改善しプラスポイントを予想している。

(2) 今期収益が好転した理由は、前回調査に比べ、「人件費減少」とするポイントが減少した。「売上高の増加」とするポイントが6.4ポイント増加した。しかし、来期予想では、この理由が減少している。

(3) 収益が悪化した理由では、「経費の増大」とするポイントが増加している。ポイントで一番高いのは、「売上高の減少」である。先行きについては、「売上高の減少」「原材料高」とするポイントが高い。

収益状況（黒字－償却後赤字）

種別	期別														見込		予測
	22年				23年				24年				25年				
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	(%)		
黒字	28.5	36.0	41.7	43.2	43.6	40.8	43.4	47.4	44.3	41.0	39.1	46.7	38.1	39.5			
収支トントン	48.3	43.3	37.6	42.5	38.1	37.2	34.2	35.9	36.0	36.9	41.9	37.7	43.6	46.5			
償却後赤字	23.2	20.7	20.7	14.3	18.3	22.0	22.5	16.8	19.7	22.1	19.0	15.6	18.3	14.0			
D.I.	5.3	15.3	21.0	28.9	25.3	18.8	20.9	30.6	24.6	19.0	20.1	31.1	19.8	25.6			



(4) 収益状況「黒字－償却後赤字」D.I.は31.1となり、前期比11.0ポイント改善となった。収支トントンとするポイントより、黒字とするポイントが高くなった。しかし、先行きについてD.I.は19.8と悪化予想となっている。

V. 製品在庫水準

製品在庫水準

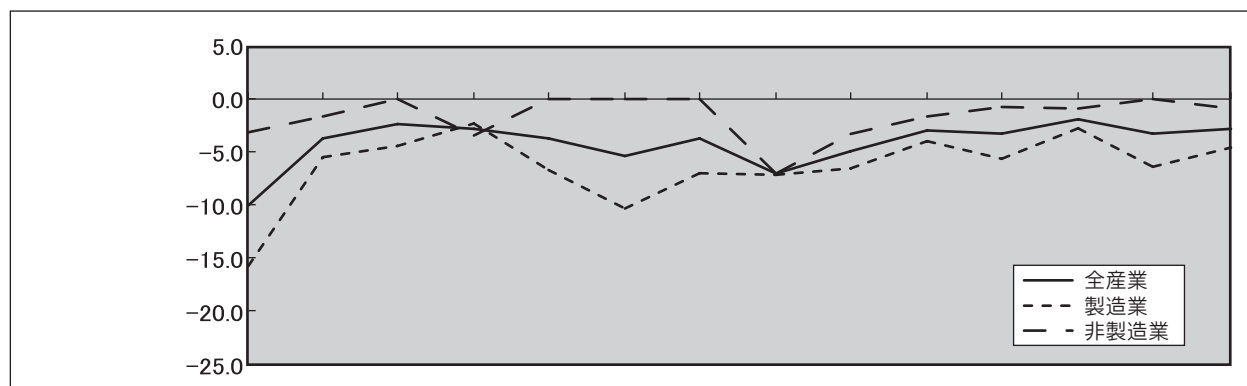
		(%)												見込	予測
期別 種別	22 年				23 年				24 年				25 年		
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	
不足	1.1	4.5	4.9	6.2	4.6	7.1	4.5	1.3	3.8	3.9	2.5	2.9	2.9	1.9	
適正	87.7	87.2	87.8	84.8	87.1	80.2	87.1	90.4	87.4	89.3	91.5	92.3	90.9	93.3	
過剰	11.1	8.3	7.3	9.1	8.3	12.6	8.3	8.3	8.8	6.9	5.9	4.8	6.2	4.8	
D . I .	-10.0	-3.8	-2.4	-2.9	-3.8	-5.5	-3.8	-7.1	-5.0	-3.0	-3.4	-1.9	-3.3	-2.9	

製品在庫水準（うち製造業のみ）

		(%)												見込	予測
期別 種別	22 年				23 年				24 年				25 年		
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	
不足	0.0	5.5	5.2	7.8	4.5	6.3	4.3	1.6	4.1	2.5	1.6	2.8	2.8	0.9	
適正	84.3	83.4	85.1	82.2	84.1	77.1	84.4	89.6	85.1	91.0	91.0	91.7	88.1	93.5	
過剰	15.7	11.0	9.7	10.1	11.4	16.7	11.3	8.8	10.7	6.6	7.4	5.5	9.2	5.6	
D . I .	-15.7	-5.5	-4.5	-2.3	-6.8	-10.4	-7.1	-7.2	-6.6	-4.1	-5.7	-2.8	-6.4	-4.7	

製品在庫水準（うち非製造業のみ）

		(%)												見込	予測
期別 種別	22 年				23 年				24 年				25 年		
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	
不足	2.5	3.3	4.5	4.4	4.6	8.1	4.9	0.9	3.4	5.4	3.5	3.0	3.0	3.0	
適正	91.7	91.7	91.0	87.7	90.7	83.7	90.2	91.3	89.7	87.4	92.1	93.0	94.0	93.1	
過剰	5.8	5.0	4.5	7.9	4.6	8.1	4.9	7.8	6.8	7.2	4.4	4.0	3.0	4.0	
D . I .	-3.3	-1.7	0.0	-3.5	0.0	0.0	0.0	-7.0	-3.4	-1.8	-0.9	-1.0	0.0	-1.0	



(1) 全産業の製品在庫水準「不足-過剰」D.I.は、24年10~12月期は▲1.9となり、前期比1.5ポイント改善となった。また、在庫過剰が高い状況である。

先行きについては、25年1~3月期は▲3.3であり、在庫過剰が続く予想である。

(2) 業種別では、製造業のD.I.▲2.8となり、前期比2.9ポイント改善となった。非製造業も過剰の回答であるが、前期比横ばいのポイントとなっている。先行きについては、製造業は在庫過剰の予想であるが、非製造業は適正水準と予想している。

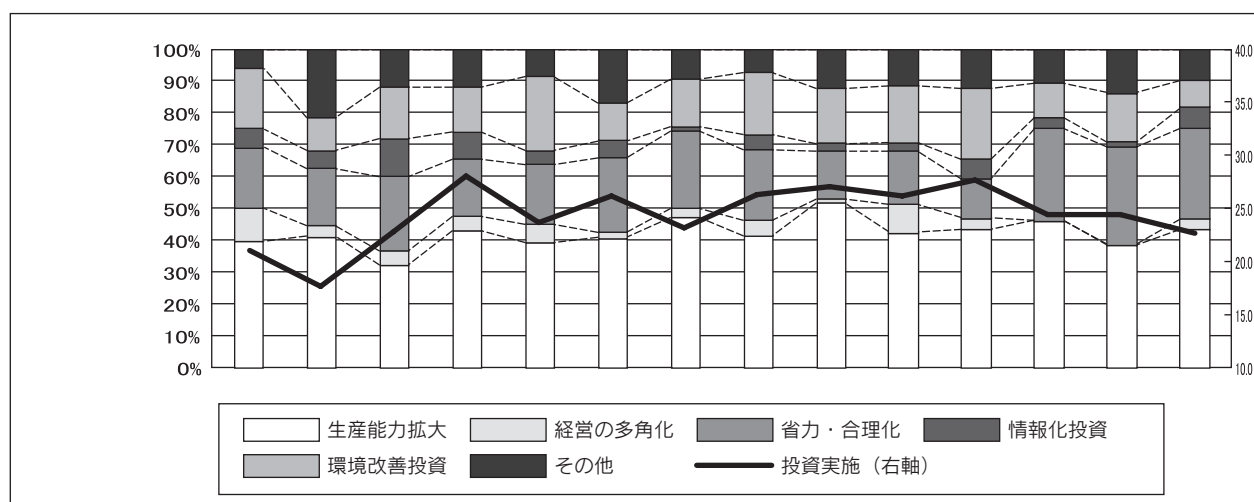
VI. 設備投資動向

設備投資の有無

期別 種別	22 年													23 年		24 年		25 年	
	1～3月				4～6月				7～9月				10～12月		1～3月	4～6月	1～3月	4～6月	
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	1～3月	4～6月			
投資実施	21.0	17.7	22.8	28.1	23.6	26.1	23.2	26.3	27.0	26.2	27.6	24.4	24.4	22.6					
投資せず	79.0	82.3	77.2	71.9	76.4	73.9	76.8	73.7	73.0	73.8	72.4	75.6	75.6	77.4					

設備投資の目的（実施先について）

	22 年													23 年		24 年		25 年	
	1～3月				4～6月				7～9月				10～12月		1～3月	4～6月	1～3月	4～6月	
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	1～3月	4～6月			
生産能力拡大	39.7	41.1	32.4	42.9	39.1	40.7	47.3	41.5	51.9	42.3	43.2	46.2	38.5	43.3					
経営の多角化	10.3	3.6	4.4	4.8	5.8	1.7	2.7	4.9	1.2	9.0	3.7	0.0	0.0	3.3					
省力・合理化	19.1	17.9	23.5	17.9	18.8	23.7	24.3	22.0	14.8	16.7	12.3	29.2	30.8	28.3					
情報化投資	5.9	5.4	11.8	8.3	4.3	5.1	1.4	4.9	2.5	2.6	6.2	3.1	1.5	6.7					
環境改善投資	19.1	10.7	16.2	14.3	23.2	11.9	14.9	19.5	17.3	17.9	22.2	10.8	15.4	8.3					
その他	5.9	21.4	11.8	11.9	8.7	16.9	9.5	7.3	12.3	11.5	12.3	10.8	13.8	10.0					



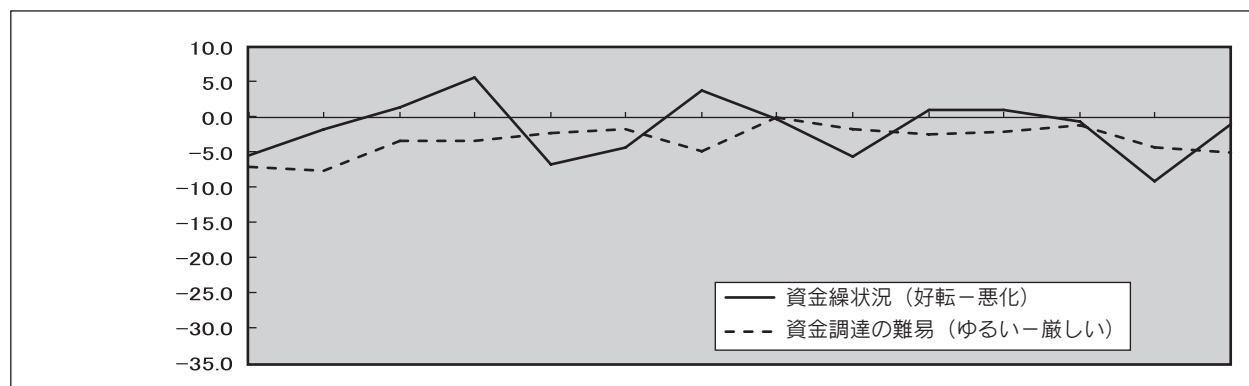
- 今回調査では、設備投資を実施した企業は全産業の24.4%と、前期比3.2ポイント減少した。先行きについては、減少予想となった。実施の目的別では、前期に比べ「省力・合理化」とするポイントが大きく増加した。「環境改善投資」を目的とする投資は減少している。
- 業種別の、製造業では「金属製品製造」「プラスチック」「機械工業」が前期比増加している。非製造業では、「宿泊業」「運送業」のポイントが増加した。先行きについては、「医薬品製造」「プラスチック」「自動車販売」「宿泊業」が設備をするポイントが高くとなっている。

VII. 資金繰り状況

資金繰り状況（好転－悪化）

(%) 見込 予測

期別 種別	22 年				23 年				24 年				25 年	
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月
好 転	9.0	10.1	9.8	13.7	5.5	11.5	10.0	9.9	7.0	11.8	10.9	9.5	4.9	8.8
変わらず	76.3	77.9	81.8	78.3	82.2	72.6	83.8	79.8	80.3	77.4	79.3	80.3	81.1	81.3
悪 化	14.6	12.0	8.4	8.0	12.3	15.9	6.2	10.3	12.7	10.8	9.9	10.2	14.0	9.9
D . I .	-5.6	-1.9	1.3	5.7	-6.8	-4.4	3.7	-0.3	-5.7	1.0	1.0	-0.8	-9.1	-1.1



資金調達の難易（ゆるい－厳しい）

(%) 見込 予測

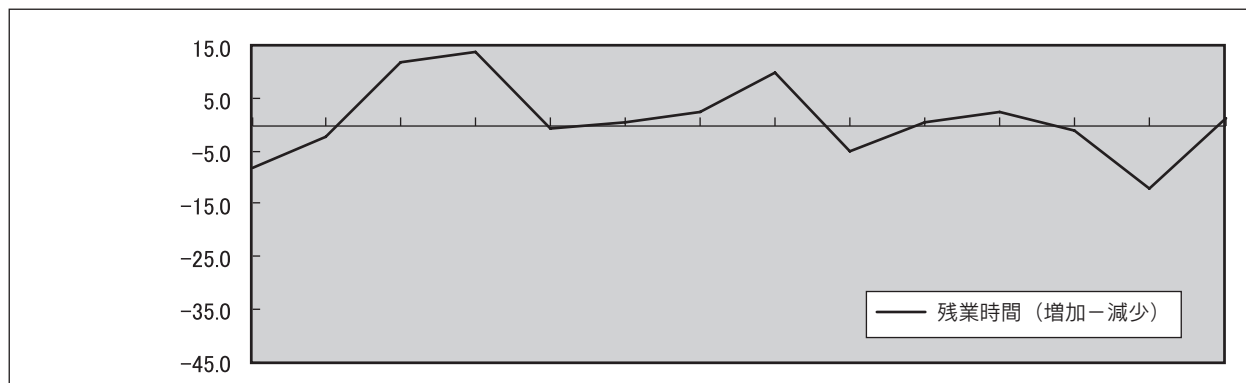
期別 種別	22 年				23 年				24 年				25 年	
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月
ゆるい	9.7	10.2	9.6	9.9	12.1	11.8	10.1	12.6	12.5	12.3	10.8	11.3	9.8	9.9
厳しくない	73.3	72.1	77.3	76.9	73.4	74.7	74.8	74.8	73.3	73.0	76.3	76.3	76.1	75.1
厳しい	17.0	17.8	13.1	13.3	14.5	13.6	15.1	12.6	14.2	14.7	12.9	12.5	14.1	15.0
D . I .	-7.2	-7.6	-3.4	-3.4	-2.4	-1.8	-5.0	0.0	-1.7	-2.5	-2.1	-1.2	-4.3	-5.1

- (1) 資金繰り状況D.I.「好転－悪化」実績は、▲0.8と前期比1.2ポイント悪化となった。資金繰り状況は、前期まで好転とするポイントが高い状況であったが、今期より悪化ポイントが高い、マイナスポイントとなった。先行きについても、悪化予想となっている。
- (2) 資金調達の難易D.I.「ゆるい－厳しい」では、▲1.2となり、前期より0.9ポイント改善したが、まだ、マイナスポイントであり、厳しいとの回答が高い。先行きについても、25年4～6月期は▲5.1であり、今期よりも厳しいとの予想である。厳しいとのポイントが高い主な業種は、製造業では「繊維」が最も高く、非製造業では「宿泊業」となっている。

VIII. 労務事情

残業時間

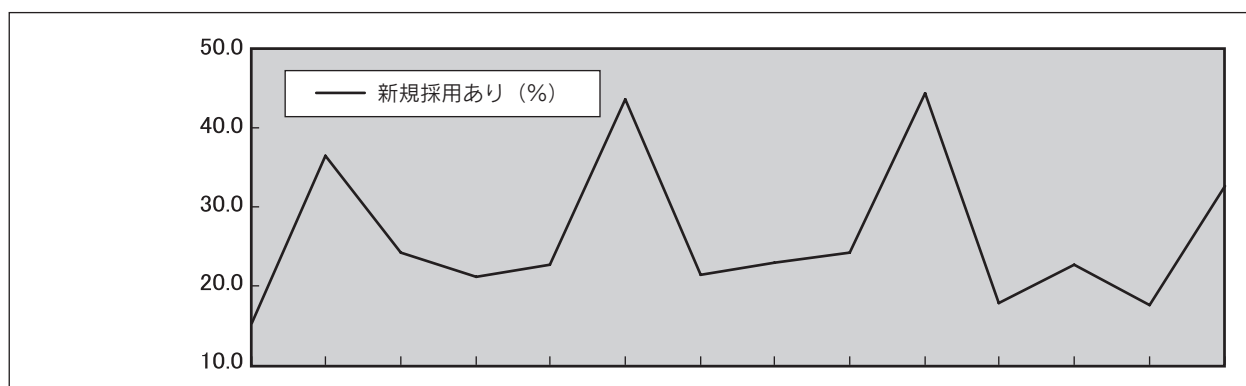
		(%)												見込	予測
期別 種別	22 年				23 年				24 年				25 年		
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	
増 加	15.4	19.0	22.4	24.6	17.4	20.0	16.9	20.1	14.8	12.7	13.3	12.7	5.5	11.2	
横 ば い	61.4	60.0	67.2	64.8	64.9	60.5	68.5	69.7	65.5	75.4	76.0	73.7	77.0	79.0	
減 少	23.2	21.0	10.3	10.6	17.7	19.5	14.6	10.2	19.7	11.9	10.6	13.6	17.4	9.9	
D . I .	-7.8	-2.1	12.1	14.1	-0.4	0.5	2.4	9.9	-4.9	0.8	2.7	-0.8	-11.9	1.3	



- (1) 残業時間D.I.は24年10～12月期0.8となり、前期比3.5ポイント減少した。残業時間は、今期よりマイナスポイントとなり、減少となっている。先行きについても、マイナスポイントとの予想であり、減少していくとみられる。

新規採用実績(採用あり：%) ※常用・臨時合算

		(%)												見込	予測
期別 種別	22 年				23 年				24 年				25 年		
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	
全 産 業	15.3	36.5	24.1	20.9	22.6	43.7	21.3	22.9	24.0	44.6	17.7	22.6	17.4	32.5	
(うち製造業)	15.6	34.5	31.9	22.5	25.9	42.2	17.6	18.6	20.0	48.9	17.6	16.1	15.3	33.1	
(うち非製造業)	15.1	38.3	17.0	19.5	19.6	45.0	24.6	26.5	27.1	41.3	17.8	27.9	19.0	32.0	

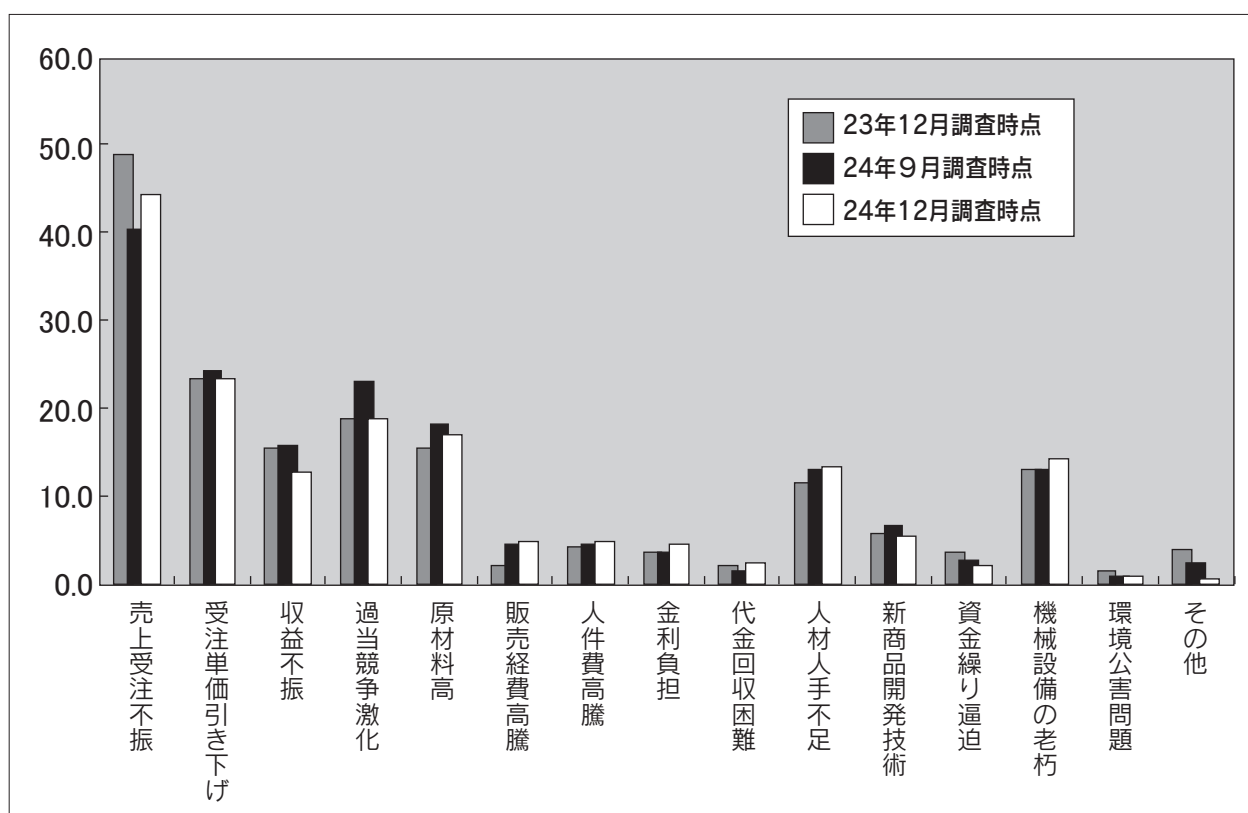


- (2) 新規採用集計は、常用雇用・臨時雇用合算で集計している。集計を見ると、全産業の22.6%が新規採用を行った。前期に比べ4.9ポイント増加、前年同期比では0.3ポイント減少している。先行きについては、4～6月期は前年同期に比べ低いポイントとなっている。

IX. 当面の経営上の問題点

(%：複数回答あり)

	23年12月 (前年同期)	24年9月 (前回)	24年12月 (今回)		前回は増減	
			(うち製造業)	(うち非製造業)		
売上受注不振	49.0	40.5	44.4	(55.9)	(35.1)	3.9
受注単価引き下げ	23.4	24.1	23.3	(28.0)	(19.6)	-0.8
収益不振	15.4	15.6	12.8	(9.3)	(15.5)	-2.8
過当競争激化	18.9	23.1	18.8	(12.7)	(23.6)	-4.3
原材料高	15.4	18.0	16.9	(18.6)	(15.5)	-1.1
販売経費高騰	1.9	4.4	4.9	(3.4)	(6.1)	0.5
人件費高騰	4.2	4.4	4.9	(2.5)	(6.8)	0.5
金利負担	3.5	3.4	4.5	(3.4)	(5.4)	1.1
代金回収困難	1.9	1.4	2.3	(2.5)	(2.0)	0.9
人材人手不足	11.5	12.9	13.2	(7.6)	(17.6)	0.3
新商品開発技術	5.8	6.5	5.3	(11.9)	(0.0)	-1.2
資金繰り逼迫	3.5	2.7	1.9	(2.5)	(1.4)	-0.8
機械設備の老朽	13.1	12.9	14.3	(14.4)	(14.2)	1.4
環境公害問題	1.3	0.7	0.8	(0.8)	(0.7)	0.1
その他	3.8	2.4	0.4	(0.0)	(0.7)	-2.0



- 今回の調査の全産業での当面の経営上の問題点をみると、①売上受注不振44.4%（前期比+3.9ポイント）、②受注単価引下げ23.3%（前期比▲0.8ポイント）、③過当競争激化18.8%（前期比▲4.3ポイント）の順になっている。
- 前期より、ポイントが増加したのは、「売上受注不振」3.9ポイント増加、「機械設備の老朽」1.4ポイント、「金利負担」1.1ポイント増加となった。
- 問題点の「売上受注不振」が高い業種は、製造業では「窯業・土石」「繊維」「機械工業」であった。非製造業では、「機械工具販売」「宿泊業」のポイントが高い。

X. 為替変動に対する影響

項 目		見込 予測 (%)				
		24年4～6月	24年7～9月	24年10～12月	25年1～3月	25年4～6月
売上高	好 転	0.0	0.4	1.8	3.1	4.4
	悪 化	7.8	8.5	5.3	6.2	3.5
	影響なし	92.2	91.1	93.0	90.7	92.0
仕入高	好 転	2.0	1.6	2.3	2.3	3.2
	悪 化	5.9	5.7	5.0	6.8	5.9
	影響なし	92.2	92.7	92.8	91.0	91.0
営業利益	好 転	0.4	0.8	2.7	2.7	4.0
	悪 化	8.2	8.5	6.7	6.7	4.5
	影響なし	91.4	90.7	90.7	90.7	91.5

- (1) 見込、予測については、前期に比べた予想について回答を求めた。回227社からの回答があり、10～12月では、売上高については7.1%から影響があると回答があった。売上高が悪化したとの回答は5.3%で、前期比3.2ポイント減少した。
- (2) 仕入高については、7.3%が影響ありと回答。うち5.0%が悪化したと回答であった。好転したとの回答は、2.3%となり、前期より増加した。営業利益では、9.4%が影響があるとし、6.7%が悪化したと回答している。
- (3) 先行きについては、売上高に対しては影響あるとのポイントが減少している。仕入高に対しては、影響はやや増加するが、好転とするポイントが高い。営業利益も予想では、好転とするポイントが増加となっている。